

## 鹿児島市薬剤師会の役割

鹿児島市薬剤師会では

- 夜間救急薬局の運営 (鴨池2丁目にあります)
- 学校薬剤師の活動支援 (照度、プールの塩素濃度測定などの環境検査等)
- 災害対策に関する支援 (人材育成や災害時の救援活動など)
- 働く世代の健康を支援 (健診支援、両立支援、環境改善など)
- 地域住民への講演活動(公民館などで開催)
- 「お薬相談」、「薬草展」などの開催
- 処方せんFAXコーナーの運営 (ご希望の薬局へFAXします)
- 薬剤師、薬学生の資質向上のための研修
- かかりつけ薬局の推進 (ぜひ、薬剤師を活用して下さい)

これらを通じて、鹿児島市民のみなさまの保健・医療・福祉の向上に寄与し、貢献することを目的として活動しております。

鹿児島市薬剤師会を、よろしくお願ひします。

ご挨拶

皆様が健康な生活を送るための  
身近な相談窓口であり続けます。

KPA 鹿児島市薬剤師会 会長 谷口 欣平



鹿児島市薬剤師会の850名余りの会員は、市民の皆様  
の健康福祉の増進、医薬品の適正使用の為、薬局、  
病院など様々な職場で地域医療の一翼を担っております。  
特に薬局では、皆様の健康相談やセルフメディケー  
ション、在宅医療など気軽に相談できる健康サポート  
薬局の推進、そして患者様の処方箋、一般用医薬品、  
健康食品等まで一元管理をして、副作用や医薬品が適正  
に使用されているか確認できる「かかりつけ薬局・薬剤  
師」を目指して日々努めております。今後は予防医学の  
観点から健診事業の支援を進めることで、市民の皆様  
の健康増進に貢献していきたいと考えます。引き続き  
本会そして会員をお引き立て頂ければ幸甚に存じます。

2024年3月

## 活用しましょう! お薬手帳

持参しましょう!

- 同じ成分の薬が処方されていないか、飲み合わせ  
が悪くないかチェックしてもらう事で、安心して薬を  
使用することができます。

記入しましょう!

- 基本情報は必ず記入しましょう。
- お薬を飲んだ時の体調変化や気になったこと、また、  
検査結果などを記入しておくことで役立ちます。

一冊にまとめてみましょう!

- 飲んでいる全てのお薬を1冊にまとめる  
事で、効果的にチェックしてもらえます。

電子お薬手帳を活用してみましょう!

- 家族、介護している人の薬をまとめて管理するこ  
とができます。
- アラーム機能を利用して、飲み忘れ防止に活用でき  
ます。

副作用防止、急病・災害などの緊急時  
お薬手帳は、あなたの命を守ります



## 夜間救急薬局のご案内

「鹿児島市薬剤師会夜間救急薬局」の業務は、  
夜間急病センターからの院外処方せん応需が主  
ですが、夜間の当番歯科やその他の医療機関か  
らの処方せんなども受け付けます。勤務してい  
る薬剤師は、主に市薬剤師会の会員が協力を  
して、ローテーションを組み運営しています。市民の方  
からのお薬に関する問い合わせなどにも応じて  
いますので、ぜひご利用ください。

## 鹿児島市薬剤師会夜間救急薬局

鹿児島市鴨池2-22-18 (鴨池交番隣)

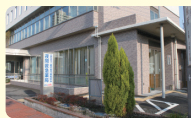
tel.099-206-2811

fax.099-206-2812

(開局時間)

月～土：午後7時～翌朝7時

日祝日：午後6時～翌朝7時



特定の薬の飲み合わせで毒にもなることをご存じですか?

これ、毒です。

電子処方箋でより安心・安全な医療へ

紙で渡していた処方箋を電子化することで、同じ効能・効果の薬を複数の機関から処方され服用すること(重複投薬)や  
飲み合わせの悪い薬の組み合わせ(併用禁忌)を発見し、これまで以上に、健康被害や副作用を防いでいきます。

©日向夏・イマジカインフォス/「薬屋のひとりごと」製作委員会



鹿児島市薬剤師会  
公認キャラクター  
「ふぁーくま先生」

お薬を通じて、地域の皆様の健康づくりに貢献します。

## 災害時に市民の健康を守る薬剤師の任務

1月1日能登半島地震、皆様の記憶に新しいかと思います。被災された地域の1日も早い復興をお祈りいたします。鹿児島県からも薬剤師十数名が被災地へ派遣されました。ここで薬剤師の災害時の役割を2つ紹介したいと思います。

### 1.避難所での衛生環境整備

避難所では集団生活による衛生環境の悪化が懸念されます。能登半島の避難所でも換気やトイレの衛生環境などの改善にも薬剤師が協力致しました。インフルエンザやコロナウイルス・感染性胃腸炎など感染拡大防止にも薬剤師が活躍したようです。

### 2.避難所での薬品の調整・配達・仕分け

大量に届く物資の中の医薬品を仕分け・整理し、医師らの巡回診療等で出た処方箋をもとに調剤・避難所への配達を行います。モバイルファーマシー（災害対策移動薬局車両）という薬局の調剤機能の付いた車両が各県より救援にかけつけて拠点として調剤を行い、医薬品を隣町などに届けたそうです。



桜島火山  
爆発総合  
防災訓練



モバイル  
ファーマシー  
災害対策  
移動薬局車両

## CKD(慢性腎臓病)に対するご案内

最近、「成人の8人に1人がCKD」、「CKDは新たな国民病」というフレーズがメディアなどで耳にします。CKDとは腎臓の働きが健康な人の60%未満に低下、または蛋白尿が出るなど腎臓に異常を認める状態が3ヶ月以上継続している状態で、治療せずに放置しているとひどい場合、透析や腎移植が必要になります。当会ではCKD予防ネットワーク登録薬剤師の支援を行い、継続してCKD予防・啓発に取り組んでおります。

具体的には健診受診後の結果についての相談対応があります。結果からCKD疑いで未治療の場合は必要に応じてCKD登録医を紹介、またはかかりつけ医がいらっしゃれば情報提供を行い腎障害の進行抑制を目指します。また、健診受診に関する総合的な支援も実施しております。

まずは腎臓の状態を知るために1年に1回は健診を受けCKD登録薬剤師に相談をしてみましょう。ご自身の腎臓の状態について知ることが透析予防の第一歩です。



鹿児島市CKD  
予防ネットワーク  
登録薬剤師の  
検索はこちら

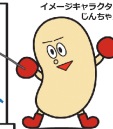
あなたの腎臓は元気になっていますか？  
成火の8人に1人はCKD(慢性腎臓病)です

- ✓eGFR(クレアチニン)
- ✓尿たんぱく
- ✓尿潜血

大丈夫？

注意マークがあった「あなた」へ

イメージキャラクター  
じんごやん



## 子供たちの健康を守る、薬剤師のもう一つの顔

あまり知られていないのですが、幼稚園から小中高までの学校には、1校に1人ずつ学校薬剤師が従事しております。その仕事内容は、主に教室の空気の検査や飲料水・プール水の検査、給食室の衛生状況、理科室の薬品の保管状況の確認などさまざまです。学校の児童・生徒さんと直接会うことは少ないですが、毎年、「薬物乱用防止教室」・「血液教育」や「お薬教室」などの講話を学校で行っており、その講話では、直接対面できる数少ない場面となります。また、ここ数年間は新型コロナ感染症対策のために、換気や消毒の感染症対策にも力を入れ、サーキュレーターの配置方法、換気のタイミングなどの指導・助言などを行ってきました。

これからも幼稚園・小中高の環境衛生の改善や薬物乱用防止教室などの講話を通して、園児・生徒さんが安全に過ごせるように、サポートしていきたいと思っております。



薬物乱用防止教室の様子

## 自然薬草観察会のご案内

第2回自然薬草観察会が、3月17日(日)に慈眼寺自然遊歩道で開催されました。第1回は、昨年9月に城山自然遊歩道において開催され大変好評でした。今回も市民のひろばで告知を行ったところあっという間に定員を超え、残念ながら募集を締め切らせていただきました。今後も鹿児島市内にある自然遊歩道を順にめぐる予定ですので、ぜひ次回以降のご参加をお待ちしております。

この観察会は、薬という概念さえない太古より、先人たちが自ら生きるために利用してきた植物(薬草)に注目し、身近な自然の中で観察することで、セルフメディケーションの意識を高めて頂ければとの思いから企画しました。実際にその薬草を使って治療して下さいという訳ではありません。ご自身の健康について、自分で何ができるのかを考えるきっかけになれば幸いです。まずはご家族、ご友人と楽しく薬草を観察して、自然を満喫して下さい。



次回のご案内は  
こちらをご参照  
ください。



城山での観察会の様子